

I 団体の概要

令和2年7月1日現在

団体名	一般財団法人 姫路市まちづくり振興機構				
団体所管課	政策局 企画政策室				
設立	昭和45年(1970年) 4月 28日				
資本金	80,000 千円	市出資金	80,000 千円	100%	
設立目的					
姫路市の総合計画に基づき、都市機能の充実及び都市施設の整備、運営並びに潤いある都市環境の創出、保全に関する事業を行うとともに、緑化意識の普及啓発、スポーツの普及振興及びコミュニティ活動の促進に関する事業を行い、もって都市の健全な発展と市民が健康で心豊かに暮らすことができる地域社会の形成に寄与することを目的とする。					
寄附行為(定款)に掲げる事業					
1 駐車場の建設及び管理その他の都市施設の運営及び整備に関する事業					
2 姫路市が計画し、又は指導する市街地再開発その他地域開発に関する事業					
3 スポーツ教室及びイベントの開催、スポーツ施設の管理運営その他のスポーツの普及振興に関する事業					
4 緑の創出及び保全に関する事業、緑化イベント、講習会の開催、緑化施設の管理運営その他の緑化意識の普及啓発に関する事業					
5 市民活動の促進、教養講座の開催、コミュニティ施設の管理運営その他のコミュニティ活動促進に関する事業					
6 市民生活に係る公共施設の利用に関する事業					
7 まちの活性化に資する事業					
8 商品等の販売提供事業					
9 住宅の分譲に関する事業					
10 その他この法人の目的を達成するために必要な事業					
主 な 事 業	事業名	R3年度事業費 (予算額)	事業概要		
	緑化事業	389,895 千円	緑化普及啓発の促進。温室植物園、好古園等緑化関連施設の管理運営。		
	スポーツ振興事業	617,213 千円	スポーツ教室の実施。スポーツイベントの開催。総合スポーツ会館等スポーツ関連施設の管理運営		
	コミュニティ活動促進事業	454,200 千円	市民センター等コミュニティ施設の管理運営		
	都市施設運営整備事業	762,359 千円	駐車場の管理運営。じばさんびる等の賃貸。姫路シーサイドゴルフコースの賃貸		
	商品販売提供事業	207,487 千円	活水軒、大手門茶屋、花の家等での商品販売事業		
	住宅分譲事業	1,190 千円	住宅貸付金の回収		
役 職 員 数 (注1)		常勤(注2) (うち市派遣)	非常勤	一般職 (うち市派遣)	嘱託・臨時等
	役員数	7人(2人)	10人	職員数	28人(2人)
	役員平均年齢(常勤)	63.9歳	役員平均年収(常勤)		4,219 千円
	職員平均年齢(一般職)	43.8歳	職員平均年収(一般職)		6,137 千円
年 度		H30	R1	R2(決算見込み)	
市 か ら の 財 政 支 出 等	委託料	988,382 千円	1,017,910 千円		1,054,474 千円
	補助金				
	貸付金 (年度末残高)				
	損失補償の対象となる借入金	429,960 千円	0 千円		0 千円

財務概況	当期収入	2,145,888 千円	2,136,734 千円	1,820,874 千円
	当期支出	2,096,526 千円	2,108,905 千円	2,134,448 千円
	当期収支差額	49,362 千円	27,829 千円	-313,574 千円
	次期繰越収支差額	2,857,487 千円	2,885,317 千円	2,571,743 千円
	総資産	3,685,983 千円	3,276,383 千円	2,868,602 千円
	総負債	828,496 千円	391,066 千円	296,859 千円
	当期正味財産増減額	49,362 千円	27,829 千円	-313,574 千円
	正味財産	2,857,487 千円	2,885,317 千円	2,571,743 千円
ホームページアドレス		http://himeji-machishin.jp		

注1：役員平均年齢、役員平均年収、職員平均年齢、職員平均年収には、市からの派遣職員は含まない。

注2：常勤役員には、週29時間以上勤務する常勤的な非常勤役員を含む。

II 基本方針

1. 団体の前計画期間（平成28年度～令和2年度）における主な取組実績

- ・ 広報や体育施設の管理運営等について部門横断的なプロジェクトチームを設置し検討した。
- ・ 市内の各種団体と連携してイベントの開催等や意見交換を行った。
- ・ ホームページや広報誌のリニューアル、SNSの活用等の広報活動を行った。
- ・ コンプライアンス基本要綱をはじめとする各種規程やマニュアルの整備を行うとともに、規程等に則った事務の徹底を行った。
- ・ 観桜会、観月会の事務局業務、スポーツコミッション事業、大手前通り市民花壇の植栽管理等の公益的な事業を拡充するとともに、収益事業としてJR東姫路駅前に建設した建物の賃貸を開始した。
- ・ 照明のLED化やひかり電話の導入等による費用の削減を行った。
- ・ コンプライアンスやユニバーサルマナーに関する研修等の実施や施設の管理運営に必要な資格取得の支援を行った。

2. 団体を取り巻く環境・経営上の課題

- ・ 令和元年度に、当機構の職員が駐車場の売上金を私的に取り込んだ事件が判明し、コンプライアンス意識の向上や信頼の回復に向けた取り組みが必要となっている。
- ・ イーグレ地下駐車場や姫路市市民プールの管理運営終了など、管理する施設数が年々減少しており、今後も手柄山中央公園の再整備により、指定管理施設の減少が見込まれる。
- ・ 自立的な経営努力は続けるものの、姫路市による指定管理者施設や受託施設の方針によって大きく影響を受ける。
- ・ 公益的な事業について、その財源の多くを城周辺駐車場の収入に依存していることから、コロナ禍で駐車場の利用が大幅に減少した際に、財源が不足することになった。
- ・ 姫路市と共同出資の法人である姫路ウォーターフロント株式会社の存廃への対応について、姫路市と緊密な連携が必要である。

3. 団体の将来像（ビジョン）

姫路市の総合計画に基づき多岐にわたる役割を発揮する団体として、市政への継続的な貢献を軸に、市民のための理想のまちづくりを実現していく。

4. 団体の改革の方向性

- ・ 当機構は公益認定の要件である公益目的事業比率が50%に満たなかった（平成23年度決算で約32%）ことから、一般財団法人に移行しているが、令和元年度決算では同比率が約47%となっている。今後も同比率の上昇が見込まれることから、姫路市政に貢献できる公益的な事業を長期に継続して行うため、事業の充実や組織基盤の強化を行うとともに、安定的な財源の確保に努める。
- ・ 観光、スポーツ、緑化事業など公共・公益性が高い様々な分野における事業を機動的かつ効率的に実施するとともに、不採算事業の廃止または縮小に向けた検討、事業実施に必要な経費等の見直しなど、健全経営の維持に向けた検討を行う。

Ⅲ 健全経営に関する計画

計画期間：令和3年度～令和7年度

1. 経営目標

目標	①まちの賑わいや地域の魅力向上等の「まちの活性化」につながる事業展開 ②魅力ある人材を育む組織づくり ③長期、安定的に公益的な事業を実施するための組織基盤の強化と財源確保
目標達成に向けた取組み	①既存事業の魅力化と顧客サービスの向上 ②人材の養成とおもてなし力の向上 ③業務の適正化 ④公益的な事業の運営方法の見直しと財源の検討

2. 数値目標・指標

健全経営に関する数値目標	令和元年度実績値	目標値（令和7年度）
正味財産比率（正味財産/総資産）	88.06%	90%
施設利用者アンケートの「とてもよい」「よい」の割合	81.60%	90%
職員提案制度におけるカイゼン報告件数	78件	90件
主催事業の参加人数	127,936人	135,300人

経営目標達成に向けた取組みの進捗状況やその成果を測るための指標

財務状況（当期一般正味財産増減額）

3. 事業運営の最適化

事業の最適化及び事業実施方法の適正化	
緑化事業	緑化施設の管理や市民参加型イベントの開催を通し緑化の普及啓発に努める。 市花「さぎ草」の普及啓発のため、講習会の開催や市内の小中学校との連携を行うとともに、自生地の調査研究等を行う。
スポーツ振興事業	体育施設の管理やスポーツイベントの開催を通し、スポーツの普及啓発に努める。 市民ニーズを考慮した教室展開と民間ではできないスポーツへの対応を行う。 スポーツコミッション事業として、市内スポーツ施設の利用拡大に向けて、スポーツ関連情報の一元管理とPR活動を行う。 世界遺産姫路城マラソンにおいて、姫路市との緊密な連携のもと、ファンラン部門の円滑な運営に努める。
コミュニティ活動促進事業	地区市民センター等を活用して、市民のコミュニティ活動を促進するとともに、施設の利用増進を図る。

都市施設運営整備事業	観光の玄関口となる姫路城周辺の駐車場について、接客マナーの向上、観光情報の提供等や料金決済方法の多様化に対応する。
商品販売提供事業	姫路城周辺の施設について、特産品の販売、観光情報の提供や職員の英語対応力の強化を行う。 収支の改善を行う。
住宅分譲事業	適正な事務遂行を心がける。（当該事業は解散財団の残務処理事業のため、最適化は既に図られている。）
姫路城イベント実行委員会事業	姫路城観月会、観桜会について、好古園との連携を行うなど、イベントの魅力を高める。

利用者満足度の把握・改善	定期的にアンケートを実施し、利用者の満足度や意見を調査する。 職員向けの接遇研修の実施や姫路の観光等に関する学習機会を提供する。 各施設のおもてなし事例（成功事例、失敗事例）を報告してもらい、全職員で事例を共有する。
--------------	--

4. 団体運営体制の改善

(1) 執行体制

役員体制	当分の間は現体制を維持する。
職員体制	職員の業務分担を平準化する。 安定的かつ良質な事業提供に必要な人材維持のため、適正な職員採用を行う。
リスク管理の強化	コンプライアンス基本要綱をはじめとする各種規程やマニュアル等に則った事務の徹底を行う。 クライアント管理ソフトウェアやマニュアルにより情報セキュリティの管理強化を行う。 業務及び財務会計に関して定期的に内部監査を行い、潜在的なリスクの把握と是正を行う。

(2) 人事・給与

「外郭団体の職員の給与及びその他の勤務条件に関する指導基準」への適合	法人の現状を考慮しながら指導基準に概ね適合するよう見直しを行う。
人材育成及び士気の高揚	講習会への職員の参加や当機構独自の職員研修を実施する。 業務に必要な資格の取得をサポートする。 職員提案制度を実施し、職員のモチベーション向上と意識改革を促進する。

(3) 財務管理

収入確保の取組み	利用者ニーズの把握に努める。 積極的な広報活動により集客増を図る。 商品販売提供事業において販売の促進を行う。 公益的な事業について、安定的な財源を検討する。
基本財産等の運用	国債等の元本が保証された金融商品で運用する。

5. 財務状況の見通し（試算）

年度		R3	R4	R5	R6	R7	
財	緑化事業	当期収入	332,359 千円				
		当期支出	369,358 千円	368,776 千円	368,590 千円	368,484 千円	368,484 千円
		他会計振替額	25,362 千円	36,417 千円	36,231 千円	36,125 千円	36,125 千円
		当期収支差額	-11,637 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
		次期繰越収支差額	62,056 千円				
	スポーツ振興事業	当期収入	472,218 千円				
		当期支出	563,428 千円	561,813 千円	561,925 千円	559,992 千円	558,930 千円
		他会計振替額	25,362 千円	89,595 千円	89,707 千円	87,774 千円	86,712 千円
		当期収支差額	-65,848 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
		次期繰越収支差額	214,968 千円				
	コミュニティ活動促進事業	当期収入	395,919 千円				
		当期支出	426,328 千円	426,328 千円	426,311 千円	426,311 千円	426,311 千円
		他会計振替額	25,362 千円	30,409 千円	30,392 千円	30,392 千円	30,392 千円
		当期収支差額	-5,047 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
		次期繰越収支差額	37,765 千円				
	都市施設運営整備事業	当期収入	505,618 千円	594,897 千円	594,897 千円	594,897 千円	594,897 千円
		当期支出	429,532 千円	416,293 千円	410,451 千円	405,243 千円	395,916 千円
		他会計振替額	-76,086 千円	-167,464 千円	-168,934 千円	-176,538 千円	-174,372 千円
		当期収支差額	0 千円	11,140 千円	15,512 千円	13,116 千円	24,609 千円
		次期繰越収支差額	1,947,487 千円	1,958,627 千円	1,974,139 千円	1,987,255 千円	2,011,864 千円
商品販売提供事業	当期収入	123,455 千円	151,861 千円	151,861 千円	151,861 千円	151,861 千円	
	当期支出	128,492 千円	143,943 千円	143,860 千円	143,806 千円	143,786 千円	
	他会計振替額	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	
	当期収支差額	-5,037 千円	7,918 千円	8,001 千円	8,055 千円	8,075 千円	
	次期繰越収支差額	77,847 千円	85,765 千円	93,766 千円	101,821 千円	109,896 千円	

概況	住宅分譲事業	当期収入	218 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
		当期支出	230 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
		他会計振替額	0 千円				
		当期収支差額	-12 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
		次期繰越収支差額	6,121 千円				
	法人管理等	当期収入	6,453 千円	6,671 千円	6,671 千円	6,671 千円	6,671 千円
		当期支出	19,009 千円	17,714 千円	19,275 千円	28,918 千円	27,814 千円
		他会計振替額	0 千円	11,043 千円	12,604 千円	22,247 千円	21,143 千円
		当期収支差額	-12,556 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
		次期繰越収支差額	125,362 千円				
	総合計	当期収入	1,836,240 千円	1,953,925 千円	1,953,925 千円	1,953,925 千円	1,953,925 千円
		当期支出	1,936,377 千円	1,934,867 千円	1,930,412 千円	1,932,754 千円	1,921,241 千円
		当期収支差額	-100,137 千円	19,058 千円	23,513 千円	21,171 千円	32,684 千円
		次期繰越収支差額	2,471,606 千円	2,490,664 千円	2,514,177 千円	2,535,348 千円	2,568,032 千円
	総資産	2,785,221 千円	2,760,587 千円	2,784,615 千円	2,799,000 千円	2,828,356 千円	
	総負債	313,615 千円	269,923 千円	270,438 千円	263,652 千円	260,324 千円	
	当期正味財産増減額	-100,137 千円	19,058 千円	23,513 千円	21,171 千円	32,684 千円	
	正味財産	2,471,606 千円	2,490,664 千円	2,514,177 千円	2,535,348 千円	2,568,032 千円	